京城日報
十月七日（日） 夕刊

現地の情勢悪化

警察官を先頭に 全職員大動搖
僞らざる報告を受けて 心を痛める拓務省

【東京電話】拓務省では過般現地視察に赴いた森重企劃課長が六日午後四時五十五分着列車で歸京したので、これを迎へて田中、郡上兩次官、平代木參與官、生駒管理、北島秘書官、高山拓務省局長以下各課長、省内關係各部拓務省に參集し、先づ森重課長より現地の情勢に關する報告を受けたが、現地の情勢は其後警察官を先頭とし全職員は大動搖を來してをり、情勢は文字通り紙一枚で現地軍との間に何時如何なる事態を惹起するやも測られぬ狀態にあり、又内地に傳はつてをらぬ現地の急迫せる情勢の説明あり、次いで意見の交換が行はれた、右報告によつて始めて僞らざる現地の情勢が目前に今更の如く惻然となり、現地に對する從來の觀察にも轉化を來すに至り、斯くの如き狀態においては改革案の徹底的司令官が總務部長を兼任することを取り止めて文官とするにあらざれば、現地の情勢緩和は斷じて望み得ないとの結論に達し、一同沈痛な面持で九時すぎ散會したが、七日午後四時五十五分東京驛着歸京の八田總務部長を迎へて同課に會議を開き、然る後岡田首相に對し最後的決意を促すはずである

一に備へてゐる等、内地の想像だもなし得ぬ程緊張を呈するに至つたので、中村關東廳財務部長を始め警察、大池等の各課長職員代表の口より詳細なる現地の報告を受けた、拓務省若手課長以下事務官は、岡田拓相兼攝相に對し首腦部にあきたらず着々最惡の事態に處すべく協議をなし、重大決意を固めるところあつたが、六日森重企劃課長は現地視察の報告をなしその情勢は一段と強化したことが明かとなつた

拓務省でも 俄然硬化
關東廳の態度反映

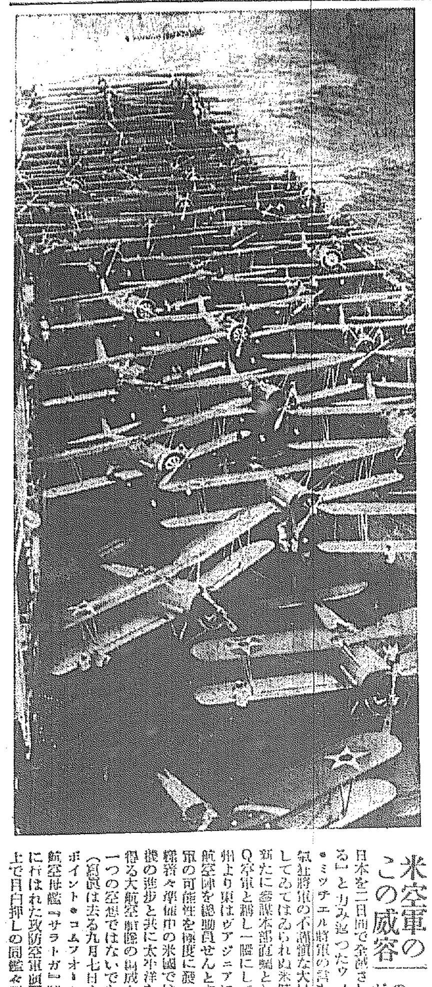
【東京電話】在滿機構改革問題は過般の閣議において形式は外務省案、内容は陸軍省案の所謂政府の折衷案で表面上一應最後的に決定されたが、内實は却つて現地における對立に拍車をかけた形となり拓務省案絕對支持の態度をとつて來た關東廳側を刺戟し、政府案は三十年の歷史を有する關東廳の官制を抹殺するものなりとの見解のもとに、關東軍憲兵司令官の總務局長兼任に反對し、現地首腦部は職員代表を總辭職の名目で東上せしめ、各方面の諒解を求めつゝあつたが、この問題に對し岡田兼攝拓相は依然として拓務省は陸軍案に對立するも、一度閣議決定の暁はこれに服すべきことが官吏たるものの道だとの見解のもとに、內外重大の時局に官吏が徒らに內部的抗爭を續けるは國家のため遺憾なことである、よろしく大所高所より一日も早く政府の意の有るところを諒とし、事態收拾に眼することを希望すると大所高所論のみを述べて、當面の問題解決のためには何等具體案を提出しないので、現地の狀態は益々惡化し、內地頼むに足らずとの見地から拓務省をも叛逆し獨自の自衞の立場から悲壯な決意を示めしてゐる

益々惡化

動かされ
拓務省首腦部も漸く形勢の急迫を重視し、從來の態度を變更してこれもまた重大決意を固めたものゝ如く、七、八日の兩日總務課長を迎へて開かれる拓務省の會議は重大岐路に立つものと見られ、首腦部は今や關東廳側の右報告に基き若手連の決意に合流し、局面打開を計るの外途なく、政府にして何等かの解決案に出でざる限り政府自體重大危機に立つに至るものと見られてゐる

昌德宮を御訪問
益々御機嫌御麗はしき 東伏見宮大妃殿下

秋晴れの七日、愛國婦人會總裁東伏見宮大妃殿下には益々御機嫌御麗はしく、正午御泊所朝鮮ホテルを御出門、昌德宮を御訪問あらせられ、御殿の午餐會に臨ませられた後、篠田李王職長官の御說明で植物園を御觀覽遊ばされ、午後二時四十分御退出博文寺に御參詣あらせられ、故伊藤博文公の靈を弔はせられ、それより德壽宮に於ける美術展覽會を御觀覽あらせられた



米空軍の この威容

【五十機の飛行船があれば日本を二日間で全滅さして見せる】と力み返つたウイリアム・ミッチエル將軍の言を俟つまでもなく氣狂將軍の不謹愼な大見得として到底看過し得ぬ、米陸海軍を新たに參謀本部直屬として一團とし西は加州より東はヴアジニアに至る全航空隊を總動員せんとする構想の空軍の可能性を極度に發揮し得る米國では、航空機々々準備中の米國では、航空機の進步と共に太平洋を横斷し得る大航空艦隊の構成も決して一つの空想ではないであらう（寫眞は去る九月七日オールドポイント・コムフオート沖にて行はれた攻防空軍演習で、航空母艦『サラトガ』號を中心に上空を目白押しの同艦々載機）

幹部を難詰す 強硬な下級警察官

【大連六日電通】全關東警察署長會議は六日、關東廳警察官招魂式典終了後、關東廳警察官教習所講堂に於て開かれ、大鷲警務局長以下本廳各部課長二十九名、巡査統制委員及び三師部（警部補部）代表參加し、下級警察官の悲壯なる決意と固き結束を述べて幹部の手ぬるさを難詰し、巡査大會の趣意に依つて決議された代表の上京許可を大聲叱呼して幹部に迫る等、頗る緊張した場面を呈したが、何等決定を見ず、六日夜及び七日朝も會合を催し、最後的態度を決することゝなつた

巡査代表 十四名上京す

【旅順六日電通】在滿行政機構改革問題に關する關東廳巡査代表の上京については過般來巡査統制委員會議に於て慎重研究中の處五日入選の決定を見六日朝春川統制委員長より代表十四名に對し十五日までに東京に集合せよとの指令が發せられたので、各代表は所屬署長より賜假願の許可を得て十五日までに各自制服にて着京することゝなつた

米國新聞記者團 七日新京に着く

【新京七日電通】アメリカ新聞記者團一行二十三名は七日午前七時三十分入京、八日は午前十時より鄭國務總理、謝外交部大臣、駒井參議等と共同會見をなし、九日は午前十一時溥儀皇帝陛下に謁見し、十日ハルビンに向ふ豫定

英產業視察團

【下關電話】イギリス產業視察團一行は七日朝特急富士號で下關着、松井市長等の歡迎を受け同十時半關釜連絡船で滿洲へ向つた

新規要求額を 三割余に削減
明年度豫算總額は 廿億圓を突破せん

【東京電話】明年度各省新規要求は九月初め工作に着手して以來、今日までに陸軍、海軍、內務、文部、農林の各省査定を一と通り終了し、餘すところは外務、遞信、商工、拓務の四省のみとなつたが、これらも大體に於て來週中には査定を終了し得る見込みであり、その後陸海軍豫算にして再調査に附した數字の再査定を行へば、本月下旬までには豫算査定閣議の運びに至るものと見られてゐる、而して今日までの査定狀況によれば、明年度豫算總額は主計局第一次査定の結果により豫想するに、各省新規要求總額十二億圓をせいぜい三億四、五千萬圓に査定、結局十六億五千萬圓を併せて總額は十九億九千萬圓乃至二十億圓程度に喰ひ止めんとする方針の模樣である。即ちこれを各省について見るに新規要求査定の大要は左の如きものであらうと思はれる

	新規要求額	査定額
▲海軍省	一億九千萬圓	七千萬圓
▲陸軍省	二億四千萬圓	一億二千萬圓
▲內務省	一億八千萬圓	二千萬圓
▲農林省	一億一千萬圓	二千萬圓
▲其の他各省	三億七千萬圓	二千萬圓
▲合計	十一億九千萬圓	二億六千萬圓

なほこの外公債利子及普通損金等約八千萬圓を加へ大體三億四千萬圓となる見込みである。主計局としては相當重い査定振りであるが、更に豫算者議と豫算編成工作の進行に伴ひ到底この程度に抑制し得べくもなく、結局新規要求總額は四億圓を超え豫算總額も當然二十億圓を突破して、本年度豫算二十一億圓台に迫ることは必然であると見られる

スペインの 叛亂激化

【マドリッド六日聯合】五日より政府軍と激烈な戰鬪を續けてゐるアストリアの叛徒は、六日午後レオン、オブイエド間の鐵道を占領し政府軍の聯絡の途を遮斷し、今やオブイエドの戒嚴令本部は奪取の危きにあり、バスク地方でも罷業のため鐵道は全線運轉を中止するの已むなきに至り、政府は事態の急迫に鑑み全國に戒嚴令を布くとともに、叛徒は死刑をもつて臨む法案を起草中と傳へらる

死傷者增加す

【マドリッド六日電通】スペイン各地に於ける革命的騷擾による死傷者は既にその數五百以上と算せられてゐるが、六日午後當地東北部外で政府軍は叛徒側と衝突し死傷者は更にその數を增し形勢は再び惡化した

左翼の新政府組織

【バルセロナ六日電通】スペインのカタロニア地方は六日午後八時左翼共和派による新政府組織を宣言された

共產黨暗躍か 邦農排斥の裏面

【フイニツクス六日電通】アリゾナ州司法當局ではソルト、リバーバレーの日本人農民排斥のため、爆彈投擲等の繰返されるその裏面に共產黨が暗躍しつゝあるものと睨み、直ちにその方面の探査に手を延ばした

會

延禧專門校長就任式 延禧專門校新任校長アンダウッド氏の就任式は十二日午後一時から同校野外集會場で行はれることゝなつた

國防の本義と其强化の提唱
問題の『陸軍のパンフレット』全文（三）（カットはその題字）

國防觀念の再檢討（承前）

凡そ國防力には二個の發動形式がある、即ち

一、靜的發動（消極的發動）
二、動的發動（積極的發動）

一は國家其の者の毅然たる威容により、消極的に其の目的を達せんとするもの、即ち孫子の所謂『不戰而屈人之兵善之善者也』である、滿洲事變當初に於て我國の綜合國防力の威容が遂に、五年計畫建設に從ひせられたりし蘇聯をして、遂に敢て起たしめず、又我が國力就中我が海軍の毅然たる存在により、スチムソンの恫喝をして徒勞に終らしめたことを想起すれば、所謂靜的國防の何たるかは容易に理解されるであらう

國防力の動的發動は『威力の觀念』なるが故に、其の基礎たり背景たるものは、陸海空の軍備でなければならぬ

斯くの如く觀じ來れば、何故に米が日本に優越せる海軍力の維持を翹望し、蘇が世界一の陸軍を完成せんと焦慮するかを首肯されるであらう

即ち、米の大海軍保持の要望は自身のモンロー主義並に支那に於ける門戶開放、機會均等主義を支持主張せんが爲めである、就中極東問題の外交的發言權を獲得せんが爲めには東亞平和の將來維持の大任を示りせんがために之を阻止せんとする何者をも撃破するに足る海軍力を絕對に必要とする

蘇國が過大なる赤軍を有することは彼の世界赤化政策遂行の支援のためである、而も最近に於て其國防對象が我が日本に在る以上、皇國としては、彼の極東政府と赤化政策とを抑壓破摧するに足る、國防力充實の必要なるは喋說を待たない所である

次に國防力の動的發動とは即ち實力行使の謂である、國防力が其靜的狀態に於て、目的を達成せざる場合即ち國防力の毅然たる存在其物より其目的を達せず、先方より挑戰し來る場合には、必然的に其動的武力即ち戰爭を招來する

戰爭とし謂へば直ちに武力戰を想起する

勿論武力戰は戰爭の骨幹である併しながら既に述べた通り近代戰爭は、武力戰單獨戰を以て終始し得る如き單純なるものでなく敵國を徹底的に屈伏せしめんが爲めには、之が全生活力を中斷するを要する

是に於てか戰爭手段としての經濟戰、政略戰、思想戰は武力戰に匹敵すべき重大なる役割を演ずべきである

獨逸國は何が故に敗北したか、勿論武力戰に於ても最後には敗れて居る、が然し觀方によつては武力戰に關する限り、彼は最後まで戰捷者の地位に在つたとも謂へる

五年の久しきに亘り、聯合國側をして一歩も國內に入らしめず自力獨往、善戰健鬪を續け來つた點は眞に驚嘆に値するものがあつたではないか

彼の敗戰は專ら經濟封鎖に堪へ得ず、國民は榮養不良に陷り抗爭力戰の氣力衰へ加ふるに思想戰による厭戰思想、革命思想の擡頭等となれるとに由來し、かくて遂に內部的に自壞作用を起して、急速和を云ふの已むなきに至つたのである

此の如く國防の爲めには、國防の動的威力の全體的發揮の爲めには、國防の全要素を不可分の一體として、組織統制することが絕對に必要である、それは列國の夙に着眼し、之が準備完成に焦慮努力しつゝある所である、斯るが故に將來戰の勝敗は一に繫つて國防の爲めの組織如何に在ると謂ふべく、更に要約切言すれば近代戰爭は組織能力の戰爭だといふことになる

×　×

國防の目的、國防の本質は右の如くである、之を一にして換へれば、國家生成發展の基本的活力である。從つて國の大小、貧富によつて、絕對的國防の規模、內容に差等を附することを强要し、又强要せらるることの不當なるは云ふまでもない、即ち國防權の自主獨立は動かすべからざる天下の公理である。而して從來國際條約等によつて軍備を制限乃至禁止せしが如きは、平和主義に名を借りて、强國が自國の國防の優越を贏得せんが爲めの策謀に外ならざることであつて如何なる國際主義者と雖も、此の事實を否定することは出來まい

前述の如く國防の目的は戰爭を未然に防止するに在る、法の極致は法なき狀態を導くにある如く、兵の極致は兵を用ゐざるに在る。即ち國防をして其の靜的發動を止まらしむるを得れば、上の上なるものである

世界に於ける最終の戰爭なりと思惟し、又標榜せし世界大戰後の如き、歐洲新國境の不合理性、如何に多くの戰爭が勃發したか又最近の世界動亂が一歩を過てば、直ちに第二の世界大戰となるの素因と可能性とを包藏する植民地領有の偏倚不當、人種的偏見、經濟的破綻、貿易乃至關稅戰爭の可避、不可避の問題の如きは論議の餘地のない所である

現下の世界の情勢と我が國際的立場とは、今や國防は觀念派の域を逸し、國民の全關心、全努力の傾注さるべき、焦眉緊要の作業たることを要求してゐる

親鸞聖人（12）
鳳雲篇　吉川英治作　山村耕花畫

啞の世（一）

空地が半分以上も占めてゐる六條の延壽院附近は、千種町といふのが正しいのであるが、京の者は、源氏町と俗に稱んだり。又、平家方の雜人たちになると、『牛糞町』などゝ云つて、振はない門族の果を、住宅地の呼び名にまで嘲侮することを忘れなかつた。

若狹守範綱は、そこに住んでゐた。源氏ではないが、院の歌所の寄人たちの宿舍は、昔からその地域內にあるのだから餘儀がなかつた。

なぜ、この邊を牛糞町と云ふかといふに、人間の住む地域に、『六條御牛場』といふのが割り込んでゐて、汚ない牛飼長屋だの、牛小屋だのが部落みたいに、散在してゐる上に空地には、野放しの牛が、白いの、斑だの、茶だの、隨所に草を喰つて居て、迂ッかり歩くと、豐富な牛糞を踏みつけるからであつた。

だから、秋になつても、なか／＼蟲が鳴らなかつた。歌人であり、儒者の範綱朝臣は、もう永く住み馴れた邸ではあつたが、それでも時々

（蟲の居ないところに住んでみたい――）

と、つく／＼思ふ位だつた。然し、保元、平治以來の戰つゞきに歌人などは、まつたく、無用の長物と忘れ去られて、殊に、爲政者の側からは。

（歌よみか、歌よみなら、牛糞町に住まはせて置くのが、ちやうど宜しいのだ）と、視られてゐるかのやうであつた。門閥も、武力も、生活力すらない歌所の歌人たちは、それに對して、不平のネの字も、吐けなかつた。

『ちつ』

範綱は、机をわきへ寄せた。

硯に、紙に、たかつてゐた秋の蠅が、彼と共にうるさく起つ。

『與四』

妻をよんで。

『粟田口の慈圓樣へ、久しう、ごぶさた申しあげて居るで、おあづかりの歌の草稿、お屆けいたしながら、御機嫌をうかゞうて來る』

『けふは、御舍弟樣が、お見え遊ばしはしませぬか』

『御所の退りに、寄るとはいふたが……。よいわ、いづれ、歸りには、日野の有範の邸へ立ち寄るほどに、そこで、會はう』

日野へ寄ると云ふと、彼の妻は（又か）と云ふやうに、微笑んだ。子のない彼は、弟夫婦の邸に、三子が生れてからといふもの、三日に一度は、どうしても、訪ねてみねば氣がすまないらしかつた。

『行つてゐらつしやいませ』

裏の邊をうしろに、籬の菊花に駒をやりながら、我が邸の門を出ると。

『やあ、兄上』

末弟の宗業が、ちやうど、門前に來あはせて。

『何處へ、お出かけですか』

と、駒をならべた。

論功行賞
上海派遣軍に 今週中に發令

【東京電話】上海派遣軍司令官故白川義則大將、同軍參謀長田代皖一郎中將（現駐屯軍司令官）以下全國師團長および派遣各部隊約一萬餘名の論功行賞は、既に論定會の承認を經て上奏御裁可を仰ぎ、今週中に發令されることとなつたが、故白川大將は先きに男爵を授けられたので、今回は一時賜金を賦與され、田代中將は金鵄勳章功三級を授けられる模樣である、なほこれに引續き本年內に朝鮮第二十師團、熊本第六師團、弘前第八師團、服部、混成第十四旅團、姫路第十師團、獨立守備隊の順で滿洲駐屯部隊の論功行賞を發令され、宇都宮第十四師團、北支那出征部隊の行賞を終る豫定である

アースタム

スポーツの秋
ハイキングに
打傷・切傷
水虫・靴ずれ
その他外傷には手早く アースタムでお手當をして下さい

效能
切り傷　毒むし
打傷　肩の凝
火傷　神經痛
水虫　關節炎
靴ずれ　頭痛
たむし　齒痛
ち　共他

價 奨鑵 二〇 三〇
乳白瓶 六〇 一、二〇

發賣元 玉置合名會社
海外發賣元 三井物產株式會社
製造元 株式會社木村製藥所

全國藥店・百貨店藥品部にあり

代理店 京城府南大門通り二 同 本町四

調停委員會決裂して 東京市電再びゼネスト

二割天引案に東交側反對し けふの初發から指令を發す

【東京電話】東京市電紛爭の調停委員會は六日午後十一時五十分より開會、吉田委員長は斡旋二割天引案を調停案として提出したところ、市側委員は之れに同意したが、從業員側委員三名は反對したので、投票採決の結果、調停案賛成四票（市側委員三、中立委員一）同反對四票（從業員側委員三、中立委員一）の同數となり、吉田委員長は調停案賛成の一票を投じ之れを以て調停案は成立を見たのであるが、從業員側は極力反對を主張したので遂に七日午前一時四十五分決裂するに至つた、市電調停委員會は斯くて決裂を見たので東交本部は七日午前一時五十分「罷業」の指令を發し、直ちに再びゼネストに入つた

從業員は引揚げ 市電臨時運轉 抗爭愈よ深刻化す

【東京電話】市電の屋台骨を賭つて抗爭二ケ月、調停成るかと見えた市電爭議も、調停委員會の決裂により事態は再び爭議團の所期の罷業に引戻され、東交は最後の指令を發して再びゼネストに入り、市電側は市吏員、臨時雇の招集を行つて臨時の陣容を整へ、罷業また斷乎たる決意を示し、茲に三者鼎立の深刻なる對峙の狀態に入つたが、七日朝の從業員出勤者は日交系四百五十名の中二百五十名に過ぎず、東交系從業員の全部は[illegible]もなく殆ど有名たる引揚げ方を示して臨時本局員一百七十名を招集して臨時運轉を行つてゐるが、一方市電側は七日午前四時頃から臨時雇六百六十二名を招集して[illegible]平常の半分にも足らぬ狀態である

一方警視廳では特別警備隊一ケ中隊を待機せしめて居るが、東交本部の間にも罷業反對の者もあり、春日町市電車庫の東交系四十名は協議の結果大部分はストライキ反對の日交系に傾きストライキに參加せぬ旨九時半聲明したが、一同の中には即時就業するを面白からずとなすものもあり、一應引揚げ場所に引揚げた、一方強硬派の赤坂山王下市電車庫の七十九名は午前九時頃不穩の形勢を示したので赤坂表町署で解散を命じ、應援團體である勞働總同盟では七日朝來約四百名の團員を招集し、著々應援方法につき協議中である

職場に籠城せよ ◇—東交指令の內容

【東京電話】臨時調停委員會決裂の結果、七日午前一時五十分東交本部は初發より左の如き再びゼネスト決行の指令を發した

一、七日始車より全線一齊にゼネストを決行せよ

二、全職場籠城の戰術を取れ

三、非常事務籠城の戰術を取れ

四、首腦部の指令あるまで罷業を繼續せよ

五、單獨行動を一切止め總て指令に依つて行動せよ

警視廳で非常警戒 東交の內部搖らぐ

【東京電話】市電ストライキが極めて惡化する形勢にあるに鑑み、警視廳は四百名の警官を召集して非常警戒を行ひ、八方に配置すると共に[illegible]

白粉落しに ペルメル

東交首腦部 地下に潛る 靜かな本部

【東京電話】警視廳の彈壓を豫想した東交首腦部以下各幹部は、六日夜より七日朝にかけて一齊に地下に潛り、普通なら各支部との連絡で賑かな築地ビル內の本部も七日朝は從業員一人も顏を見せず、本部內は竹內書記がすつかり監理して平常の亂雜さはすこしも見られない有樣で、警視廳特高係がビルの管理者から鍵を借りてビル內に入つた時は、僅かに殘つた人がパチリ／＼と石の音もさはやかに外の騷々しさと對照してかへつて不氣味な光景を展した

滿洲から潛入 青年調べらる

京城本町署では高等主任は七日、日曜日にかゝはらず出署、實際上取調べで一名の朝鮮青年を取調べてゐるが、右青年は數日前滿洲から潛入したもので、某思想團體に關係してゐるらしく相當重大視してゐる

けふの人出十萬

秋空一碧！すばらしい日曜日 郊外へ・京城市中人の波

晴れたぞ一碧！秋たけなはのけふ十月第一日曜は、北海道から北支へ連る澄み切つた快晴、高氣壓のおかげでこのまゝの日曜祭日を惡天候で棒に振つた都會人は、けふこそと、都心から郊外線風景の田園へ、人出の渦紋を近く遠く擴げてゆく ×

行樂のお關所、京城驛の改札口では忙しく『鋏』の切符の流れにパンチが入る、珍しくも荒井驛長さんも御出動で何くれと世話を燒いてゐる、きのふの土曜日でさへ人出は六千、そのうち八百は紅葉の金剛山ゆきだ、けふは恐らく一萬を突破しようといふ、本社主催の安養ゆきだけでも千三百、十三輛連結の臨時列車が勢ひよく驛頭を出る、新主催婦人見學團五百人も郊外街道線に繰り出す、かうした團體のほか、開城、水原、仁川へ秋をさぐるもの、北漢山、道峰山登山、それに龍山の大天狗、小天狗、ビクをさげた太公望が勇んで進軍だ ×

京城驛內では午前中に二千五百人を呑み込み、切符係は悲鳴、この秋第一の人出だらうと驛員は語つてゐる、驛當局では五千人を突破、去る二十五日の四千人をグンと拔き、一日では五千人を突破、ざつと近い郊外清涼里、新村にも家族づれの群が遊ぶ—京電では午後から電車十臺を增發、百三十三臺を動かした ×

京城運動場ではけふのスポーツを獨占して府聯合青年團の大運動會、午後一時半からは京龍對仁商の野球定期戰が開かれた ×

秋晴の散は、まさにクライマックス、府內の賑ひで合計して、ざつと十萬の人出だ

虎豹など出でず 殘念、學者たち歸る

だが高山鳥の收獲があつた 更に思ひ〳〵の研究

金剛山と朝鮮特產の珍獸奇鳥類との關係を研究するため紅葉燃ゆる內外金剛山に向つた日本動物學會大會出席の內地側動物學者廿餘名は二日間に亘る踏査を終り 七日午前六時卅五分發列車で森博大教授、村山林業試驗場技師、江崎九大教授は石田明治部高等教諭の案內で開城の昆蟲採取へ、內田北大教授、林北帝大教授らは平壤へ、大島九大教授は再び昌慶苑博物館を見學後、小林博大教授を訪れて研究を進めるところあつた、金剛山探訪の一行は朝鮮マムシ、トカゲ、赤蛙などグロな研究資料をウンと蒐集したが、山は雨交りの天候でコンディション極めて惡く折角待望の虎、豹などの猛獸類には見參かなはずホッとした體であつた、昆蟲類の採取にも內金剛あたり龍膽を除けば蟲の姿さへないやうな有樣で研究には相當苦心した代り仙島等の高山鳥初め朝鮮の縞リスなどの姿を發見し大喜びだつた、かくて冒險を犯して行はれた金剛山研究の動物學會は無事大團圓を告げたが、學者達は口を極めて怪奇の絕景を賞讚し、寫眞の不足による豫備知識に乏しかつたことを殘念がつてゐた

家出の息子 自殺未遂

京城府桃花洞七九米穀商金鎭九の長男金順成は父から手ひどく叱られた事を苦に病み、集金の八十一圓五十錢をもつて先月末家出、江原道平康で自殺を企てたところ發見され、平康署で保護中である

盛んな運動會 第一高女で

京城第一高女運動會は、秋晴れ絕好日和の七日午前九時から同校々庭で開かれたが父兄、母姉等の見物人多く非常に盛大をきはめた

麻雀賭博

京城長谷川町公會堂裏支那山東省生れ劉達臣は四名の同僚と麻雀賭博を常習としてゐたが七日朝本町署に檢擧された

二萬八千圓の金塊を密輸 仁川署に檢擧さる

【仁川電話】仁川花町生れ當川府多栄町十番地[illegible]二五〇金鑛採取[illegible]は昨年十月から東府內龍岡町一の六林大燮[illegible]同町一の二八[illegible]の金を京城の商から金塊を買取り、仁川港の便船の支那人に託して金の密輸出を行つて居り、約三百貫、二萬八千圓に上つてゐることが判明、四日仁川署に檢擧された

晴曇 七日午前一時頃、龍山[illegible]が[illegible]多數の見込みである

[illegible]のブタ箱へ

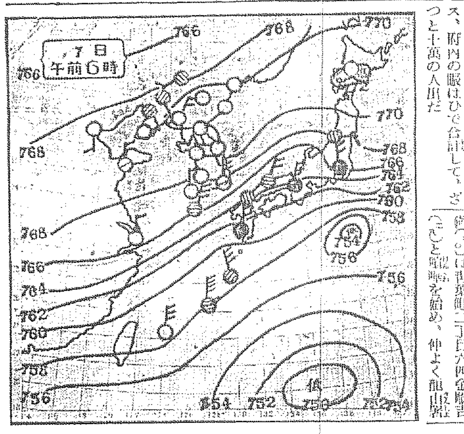
あすの天氣（7）

七日の概況

高氣壓は主部が北海道に移つて七七二粍となり、日本海朝鮮を經て北支那に亙つて居る、支那及朝鮮の大部分は此の高氣壓の圏內にあつて引續いて秋晴れの好天氣なるも、滿洲及朝鮮の南部は曇り勝である、氣溫は昨朝より一、二度下降した所多く一般に秋冷を覺え、登別でも今朝初霜があつた、八丈島の南方海上には七四五粍位の低氣壓がある爲內地は一帶に曇つて關東以西の裏日本は雨、八丈島では暴風雨となつてゐる

あすの豫想

八丈島附近の低氣壓は北東に去つて半島には影響なく高氣壓が漸次北東方に移動するが、明日は氣流が引續き好晴で氣溫も上り氣味となるだらう併し西南方面は曇つて來るかも知れない

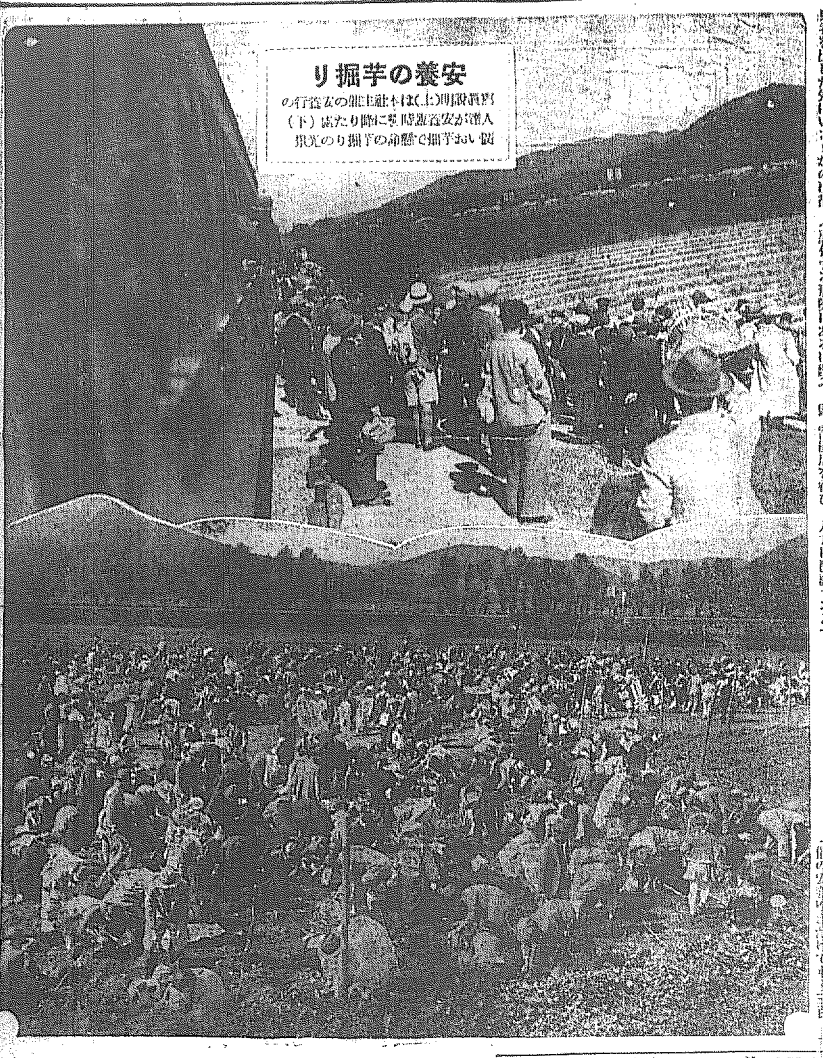


豫報 晴一時曇

六日 最高	七・五（[illegible]）
七日 正午	一八・三（[illegible]）

仁川潮時（八日）

	午前	午後
滿潮	四・四〇	五・〇四
干潮	一一・一〇	一一・二〇



安養の芋掘り

寫眞說明(上)は本社主催の安養行の人達が安養驛に到着したる處(下)賑はしい芋畑で芋掘りの光景

健康を乘せて— 目指すは安養

千三百人が芋掘りと栗拾ひ 本社主催のハイキング賑ふ

時はよし、場所はよし、深み行く秋の郊外色を賞でながら同時に食慾の秋も滿足させようと本社の計畫した芋掘と栗拾ひの安養行は果然！七日朝氣を衝いて晴れ上つた上に日和に誘はれて京城驛頭、物凄い人氣となつて現れた何しろこの日の會員券千三百枚は既に飛び、午前九時過は既に

賣れ切れて

後から後からラッシュする人には會員券の購賣に悲鳴をあげる有樣だ、而も十三輛の列車は既に定員に達したゝめ札止めを喰つた氣の毒な數百の人々は遂にホームを引返す始末だつた、主催の坊ちやん嬢ちやんが五割、姉さん兄さん三割、パパママと御老人が約二割の總勢千三百人は、いづれも輕裝を整へ、スコップや大型リックサックを背一ぱいにひろげてゐる人もありホームは非常な賑しさ、可愛い坊やの迷ひ子が出來て係員一同で母さまを探すといふ珍プレーさへ演じた、かくて行樂のハイキング列車は千三百の

健康と希望を乘せて

午前九時卅分京城驛を發車し途中漢江の河原に、鷺梁津の小松山に、漸く色づいた秋の氣色を眺めながら早くも十時廿分安養驛に到着したコンモリと形のよい小山に圍らされて秋の陽を一ぱいに受けた大田園の靜けさは都會人に素晴らしい魅力を以て新鮮な感觸を投げかけた、十一時係員の合圖一聲、地下に眠る無數のお芋に對して二千六百の手が下された、さしもに廣い芋畑もこの大勢の人達には忽ち掘り返され、皆んな袋を滿腹させて大喜び、プログラム第一を終り、次は數町離れて栗林へ第二の戰鬪の準備にとりかゝつた（安養にて一記者）

ジール 世界中の醫師が待つ 体温計

一、入札 [illegible]月八日[illegible] 昭和九年十月八日 京畿道[illegible]部

歸院公告 小生 急用突發の爲め突然東上[illegible]に多大の御迷惑を掛け何共恐縮の至りに存候茲に歸院仕候間何卒不相變御診察下度候先は以紙上御詫び旁々御挨拶迄斯の如くに御座候 敬白
京城南米倉町一六四 岩崎內科兒科醫院 院主 岩崎 懷

衞生濃ペトロール

祛痰と鎭咳に ツソイン
廉低格價—秀優力効—易容用服
粉末 15瓦 ￥.60 100瓦 ￥1.50 500瓦 ￥4.70
液狀 100瓦 ￥.70 500瓦 ￥1.60
錠劑 50錠 ￥.60 500錠 ￥1.00
適應症 急性及慢性氣管枝加答兒、加答兒性肺炎、肺結核、喉頭結核、肋膜炎、流行性感冒、氣管枝喘息、百日咳、其他咳嗽喀痰を隨伴する諸症。
全國著名藥店に販賣 ● 類似品多數ありツソインと御指定をなさい ● 詳細說明書進呈
第一製藥株式會社

一生安心 求職募集
◇此際秘傳の[illegible]無代の[illegible] 日本鍼灸專門學院

並木の雨 南の島へ 松平晃 ミス・コロムビアが唄ふ名タンゴ調 秋の想ひ切々……
つんと節 藤本二三吉
利根の舟唄 松平晃
Columbia コロムビアレコード

最上醬油 ヒゲタ 品質、賣行、滿鮮第一 高杉釀造

金銀白金 高價買入 京城明治町 株式會社 京城德力 電話長 一五七二 二〇八八 本局 三九三九 御來客用 四〇三七

京日案內
女店員 [illegible]
男子 店員 [illegible]
女事務員 [illegible]
石版 仁川府 [illegible]
熊本 [illegible]

投網 釣具 極上麻糸製 京城府明治町一丁目 秋岡商會

產婦人科 醫學博士 橋本吉藏（入院隨意）京城府岡崎町七 電龍山五八〇番

電話 [illegible]
恩給 [illegible]
特別案內
地圖と兵書 京城錦町 小林又七出張店

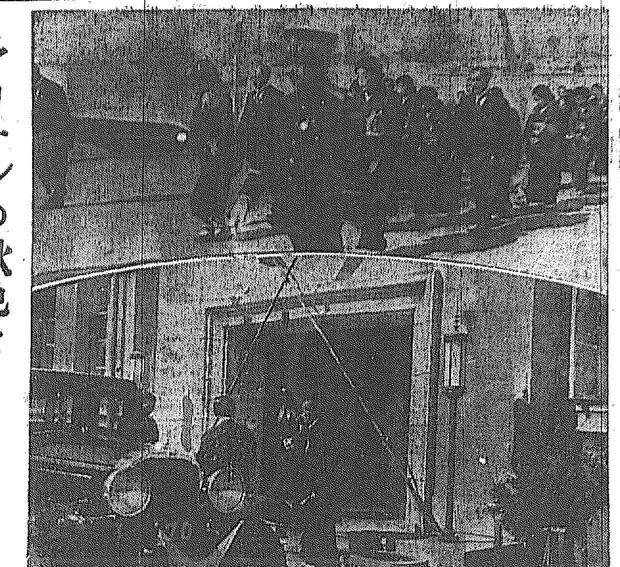
夕刊に限り地方記事は各地の綜合編輯

實戰さながらに 息づまる緊張
高潮しゆく十九師團の演習 けふから旅團對抗

【咸興】第十九師團秋季演習の前哨戰たる旅團對抗演習は愈よ六日の第一日から旅團對抗の壯烈な戰鬪開始の蓋き、空には五日午後三時四十五分本宮飛行場に着陸した太刀洗飛行第四聯隊所屬の偵察機が交互に狀況偵察するプロペラの響き、咸南中部は地上も空中も息づまる緊張の渦中にある旅團對抗演習は八、九、十の三日間だがこの期間は愛國婦人會國防婦人會の盛んな接待あり太刀洗機はこの最終日まで空の偵察を續ける、十一日は休戰十二日から十三日早朝にかけて高潮する師團假設敵演習、それが終れば十三日午後一時半から咸興練兵場で晴れの觀兵式である

秋空に爆音勇しく 十六機北滿へ向ふ
新京から更にハルビン方面を訪問 平壤飛行隊の壯擧

【平壤】飛行第六聯隊の精鋭戰鬪機、偵察機十六機をもつてする北滿訪問飛行は森本少佐指揮の下に翼を揃へて六日朝決行、九二式戰鬪機六機、九二式偵察機十機計十六機は午前六時第二中隊機五機は川守田大尉編隊長となり離陸第一中隊機六機は同六時半、第三中隊機五機は同七時暮野大尉編隊長となり離陸、一路北滿を目指して爆音勇ましく飛翔し去つたが戰鬪機は新義州、奉天を經て新京に、偵察十機は一路新京に集結することになつてゐる、偵察十機は新京に二日間滯在しこの間戰鬪機はハルビン、チチハル訪問飛行をし歸隊平壤歸還は十日の豫定である



愛婦總裁宮殿下
アリナレの秋色を 愛でさせ給ふ
氾濫について有難き御下問 學藝會にもお成り

【新義州】東伏見愛婦總裁宮大妃殿下には國境江都の秋色を殊のほか愛でさせ給ひ、五日は遠く義州統軍亭にお成り遊ばされたが、六日も更に御日程を御變更され午前九時五十分御宿所を御出發、鴨綠江鐵橋にお成り、日滿兩國をつなぐ國際鐵橋鴨綠江上を徐行の自動車で御通過、秋光に美しく展開する「ありなれ」の風光を御賞美遊ばされた、次いで午前十時十分鴨綠江に御成り、紅白の幟すがしき御船にお召しになり千葉知事の御說明を申上ぐれば輸船公司のプロペラ船雄飛、高麗號は秋空に爆音も勇ましく白波蹴つて遡江し台覽の光榮に浴する、殿下にはプロペラ船の快音と犯騰す江上の風景に殊のほか御滿足げに拜察され、千葉知事より對岸安東の水害につき御話し申し上げれば殿下には鴨綠江氾濫等について御下問あらせられ聞召る一同は有難い御心盡しに唯々感激した、終つて午前十時四十分新義州高等女學校で開催の平北教育會主催殿下奉迎の日滿聯合學藝會に台臨、日滿生徒の手になる手藝品に御覽をはじめ兒童の唱歌、遊戯を台覽後御宿所に御歸還、正午御午餐後午後二時十一分、ホームを埋める赤誠府民二千餘名の心を込めた奉送の裡に三日間に亘る新義州御滯在のお名殘りを惜しまれつゝ御機嫌麗しく御出發遊ばされた（寫眞は驛構から御歸邸と學藝會から御退場の殿下）

またもお寺に 三人組の賊
福泉寺の強盜と同一か 有力な容疑者逮捕

【釜山】府內牧の島福泉寺の強盜事件が未檢擧の折柄六日未明釜山府島內の朝鮮山寺に三人組の覆面強盜が押入し住職を叩き起し現金十餘圓を強奪して逃走、所轄釜山署では牧の島の強盜と同一犯人と睨み搜査に活動中であるが同日午後三時有力な容疑者を取押へた模樣である

お歴々の稻刈り
慶北農事試驗場 秋日和に大賑ひ

【大邱】慶北道農事試驗場では既報の如く十二日農民デーの稻刈りを實施する筈であつたが都合により六日に繰上げ同日午前十時から金知事、大竹農務課長、金龍澤部長などを始め道內各課長、高等官級の首腦者等官民約六十名を招待賑かに稻刈りを行つた作業開始前例により稻刈り終了後投票の批評があつたが今年は植付當時の旱魃とモザイツク病の猖獗に未曾有の大凶作を示し昨年の實收六石七斗に對し今年は僅々一石九斗といふ慘憺たる試驗であつたためにお歴々の投票も甚はせが多く甚しいのは六石台もあり投票毎に爆笑がつゞき

新婚の家庭を狙ふ 生臭坊主の詐欺
若妻を瞞して千圓も稼いだ 七人組數珠つなぎ

【平壤】新婚家庭を狙ふ悪德坊主七人組——大同署では京畿道開豐郡上道面上道里住所不定僧侶金文龍（二八）江原道伊川郡方長面住所不定朴春錫（三三）忠北道槐山郡槐山面大寺里黃貴云（三七）京畿道楊州郡長興面劉一燮（二〇）の四名を數日前から取調べてゐるが右は（外二名未逮捕）昨年十二月廿五日午前十一時府內本町沈龍燮方に至り祝ひ新婚と稱して現金二圓九十七錢白米三升外衣類その他を騙取したのを手始めとして同樣手段で八月十四日頃までに約千圓を稼いだことを自白したが、同人等は今年八月中旬寺町四二金麗吉方に至り新婚間ない金の妻充愛に對し自分等は大同郡龍山面法雲庵の僧侶であるが貴女には不吉の相があるからそれを拂ひ濟さないと夫婦生活は面白くないと出鱈目を並べ祈禱料八圓五十錢外衣類約五十圓を騙取してゐるが彼等は新婚間もない者に執拗に迫り祈禱料として金品を強要してゐたもので被害者の中には夫に內密で夫の服や時計を祈禱料として渡し後に知れて破鏡に泣く氣の毒な者もゐると

除隊兵の慰安會

【大田】大田國防義會は六日午後一時驛心館に大田大隊除隊兵九十九名を招待し送別をかね慰安會を開催、防空の映畫を映寫した後村尾氏の挨拶、除隊兵を代表して市川大隊長の謝辭並に講話があつて宴を張つたが官民有志三百名出席し盛況であつた

秋を飾る美術展覽會

【釜山】例年釜山の秋を飾る美術展覽會は本年も來月三日から五日間道産業奬勵館三階と釜日會館で開かれることに決定した、毎年の進步著るしく洋畫部に新進の閨秀が續出するので今秋の展覽も一般から期待されてゐる

群山の行旅病舍全燒
患者は無事

【群山】去る六日午前一時頃府內屯德町府營行旅病人收容所から發火、消防組、警察署員が駈けつけ消火に努めたが水の便惡く遂に全燒するに至つた、當時同所には七名の患者を收容してゐたが逸早く難を避けたので幸ひ無事であつた出火原因については目下群山署で取調べ中であるがオンドル灰の不始末らしく建物には一千七百圓の保險が附してあつた

主要港に船揚場
全南の新しい試み

【光州】荒天時における漁船の避難は主に漁港または船溜內の繫留中風波のため船體相互の衝突或は岩石その他に衝突による災禍が多いのに鑑み全南では道內主要港に船揚場設備を施すことになり本年は左記十一ヶ所に設備すると ▲麗水郡南面心張里心張里漁組 同郡三山面德村里巨文島同、同郡華井面蓋金里五井同▲高興郡蓬萊面、錦華蓬萊島漁組、同郡道陽面鳳岩里鹿洞同▲莞島郡甲日面沙洞里金日漁組、同郡青山面佛島芦花同▲務安郡荏子面耳島荏子面▲濟州島濟州邑道頭里濟州邑漁組、同島楸子面新陽里楸子島同

庚川貯水池の紛爭 互ひに讓らず
當局も當分手がつけられず 冬季を控へて憂慮

【全州】臨益水利組合庚川里貯水池工事に絡る代行會社土地改良組と請負人津田組との三萬圓支出問題については既報の如く道當局の藤野技師が調停案を携へて上城、本府と具體的調停方法につき折衝したが、聞く所によれば代行會社代表者であり臨益水利組合長たる藤井寛太郎氏は三萬、四萬の金の問題ぢやない正當な理由と、面目にかけて拒ける事は出來ぬと頗る強硬な態度を持してをり、又津田組としても當方の主張はこの種營業者の權利に對する抗爭である、損害をどうしてくれるかと讓らず道當局でも將中調停の途は思ひあるがまだ調停の途なしとみて積極的態度に出でず、靜觀を持してゐるので事はこのまゝ結氷期に持越されるのではないかと憂慮されてゐる

同胞學園 內容を充實
昇格を申請

【釜山】釜山の東本願寺應援では時代に相應しい明朗で眞面な校風を養成する方針で女學校や業生を中心に同胞學園を經營してゐたが更に內容の充實をはかるため修業年限を各二ヶ年とする本科と研修科を設けて高等女學校に昇格して經營する方針となりこの程內藤八藏氏から設立申請を道に提出した

萬引男捕る

【平壤】六日午後八時半頃府內三中井デパートで一圓餘の賣掛で萬引をして逃げんとする男を同店監視人が取押へ平壤署に引渡したが右は安州郡安州邑反物行商張永年（三）といひ昨年下、ワイシャツ、反物を萬引したもので同人は贓品を行商してゐた疑ひあるので嚴重取調べ中

全南辭令（四日附）

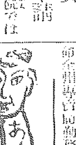
道屬兼道警部 上野精一
任小作官、全羅道農務課在勤を命ず
道小作官 佐野秀助
依願免本官
道理事官 林勝壽
知事官房主事兼務を命ず
道屬 南仙一
農務課勤務を命ず 澤野初
全南道産業技手に任ず
原蠶種製造所勤務を命ず 鈴木桂兒
地方森林主事を命ず
光陽郡在勤を命ず

慶南辭令（六日附）

慶南土木技手 平塚昇三
晋州管區
同（土木課） 山崎浩
願に依り本職を免ず

全鮮專賣局異動

專賣局技師 中部思吉
命大邱專賣支局製造課長
同 林任也
命全州專賣支局製造課長
同 栗木震人
命大邱專賣支局勤務
同 橋本貞太
命光州專賣支局勤務
同 藤崎公亮
命全州專賣支局勤務（以上五日附） 西野武雄



【永同】道では八日から六日間永同、沃川郡の小作慣行調查

◇

【全州】第二普通學校では六日午前十時から講堂で新築地鎮祭を執行

◇

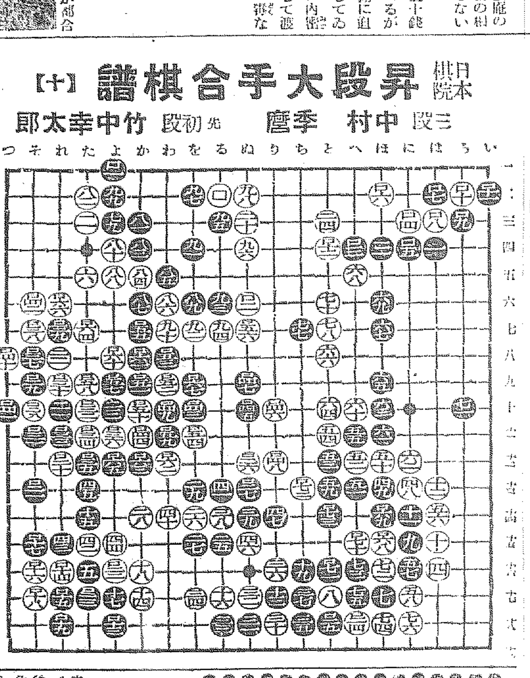
【永同】郡勝村振興委員の例會を去る五日午前九時から開催、委員一同今後の更生部落を視察

◇

【海州】月友會では六日午後二時から月友會道場で例會を開催

日本棋院 昇段大手合棋譜【十】

三段 村中季麿
先 初段 竹中幸太郎



●百四十一 を十 10	○百四十二 か十二 5		
●百四十三 ぬ十 2	○百四十四 り十 16		
●百四十五 ぬ九 10	○百四十六 り十二		
●百四十七 わ十 3	○百四十八 か十 6		
●百四十九 か九 1	○百五十 わ九 9		
●百五十一 わ八 1	○百五十二 を十一		
●百五十三 か七 2	○百五十四 ぬ七 2		
●百五十五 よ九 7	○百五十六 た九 3		
●百五十七 わ十一	○百五十八 よ八 9		
●百五十九 か八	○百六十 わ十三		
●百六十一 か十三 3	○百六十二 た七 1		
●百六十三 よ十二	○百六十四 れ六		
●百六十五 を九	○百六十六 は十五 13		
●百六十七 は十四 4	○百六十八 へ十五		
●百六十九 と十六	○百七十 ち十三 1		
●百七十一 と十四 1			

（分）（一分以內は切捨）

百七十一手完——黑中押勝

消費時間（白六、三三分）（黑四、三九分）

（制限時間各七時間）

戰跡を辿つて

●黑十三は三二が穩當だつたかも知れない、勿論兩方あるが——
○白十四、十六の趣向は贊成出來ない、『と十五』なりロ七十なりで白に角八の一子を動き出されねばならない、黑十九とコスマレては棋が分り惡い
●黑二一は白二十と見合ひの譯りでもあらうが、一路ロ三下まで進めて白三二のツメを妨げる方が面白いであらう
●黑二五は嚴しく攻めに行つたのであらうが、傍り當てかない、ロ六十に曲つて居るのが手厚い好點である
○白二八はロ二二の當ての含みで『か十三』の二間トビが形ではあるまいか
○白三十以下三六までは、八の一子の活力を全然失くして居るので疑問ではあるが、三八と出る爲めには止むを得まい
●黑四一は無論『り十五』に二子の切り取りを防ぐ可きで、白四一の出は些して意に介する必要はあるまい
○白四二、四四は適當、單に四六と切取つてゐる別も危險を感じない
●黑四五はロ十四のツギが本手、謂は味が頗る惡かつた
●黑四九のハネ以下五九までは、四七までの形勢を再複して居らなかつた、四九では『に八』又は『に九』邊が正しい見當であらう
○白五二の押しは宜い、上邊九三又は九四に聞つて居るの存外棋勢を損くする
●黑五三では從つて此處で一本六二を切つて見るべきだつた
○白六十の當て以下六四のツギまで重苦しい感じである、六十では
○白七六では隙さず上邊『を八』邊に開ひたかつた、開へば恐らく角上邊の白模樣劍減に志さねばならなかつた
●黑七一は眼界が狹かつた、尤に角上邊の白模樣劍減に志さねばならなかつた、去つて矢張り上邊九四邊に着手すべき機會である
●黑七九は『る四』の肩又は『ほを五』邊からの方が左上隅に味を殘して條節に富む
何れにしても黑七七、七九と上邊に先鞭することになり、九九まで盤中の小天地を此處に求める事になつては、白に勝味のない棋勢と斷定して大過ないであらう

次回對局者

三段 染谷一雄氏
二段 黑田幸雄氏

ストーブの眞價は
燃燒部の機構にあり
機構內容に付充分比較御研究を乞ふ

燦然!!!
二大權威の折紙
帝國發明表彰「有功賞」受領
帝國發明協會ヨリ昨年センターニノミ此光榮
國立燃料研究所ヨリ最優良ト證明
センターノ輻射放熱ハ實ニ他ノ二倍ヲ有ス

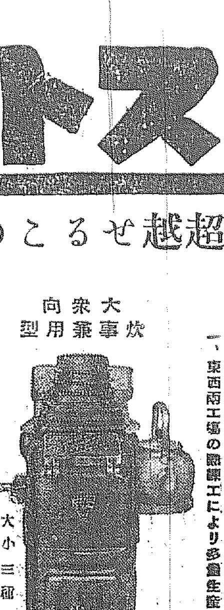
センターストーブ

斷燃超越せるこの機構

—大小五種—

特長
一、點火極めて簡單火廻り特に早く直ちに放熱
一、一日一二回の焚炭にて終日連續燃燒を爲す
一、自然に石炭の再層を形成し完全無煙燃燒す
一、通風調節貯炭筒に燃え上らず常に放熱平均
一、低位置より全放熱し熱の損失なく且衞生的
一、獨特の位置で灰及クリンカーの除去頗る容易
一、通度の調節自在燕設用大タンクを裝備し得
一、精撰せる材質により頑に堅牢體裁も亦優麗
一、東西兩工場の熟練工により多量生産頗る低廉

大衆向 炊事兼用型



大小三種
別ニ高級炊事兼用型アリ

特長
◎兼用型では兎角燒屑炊事の何れかに偏し易きも本器は完全に此兩用を兼ねして居ります
◎火力の加減自由、燃料費も少くて濟み又鍋鑵の取外しに鑵蓋の出る憂がありません
◎鍋釜は大小自在にかゝり天火式燒物器、茶瓶台もついて居り大變に御便利であります

製造元 大阪 東京 山本最商店
代理店 三井物産株式會社 京城 釜山・群山・平壤・仁川・清津・咸興・雄基・安東縣

各官衙・學校 多數御採用

型錄贈呈・御報參上

特約店
京城府本町 釘本金物店
〃古市町 西田石炭店
〃南大門通 朝鮮合同炭礦株式會社
清州本町 瓜生定吉商店
天安本町 村上一郎商店
水原驛前 荻野商店
開城 木村商店
鐵原 木岡金物店
延安 森泉石炭商店
[illegible]

哭くな、青春（5）

三上於菟吉
吉邨二郎畫

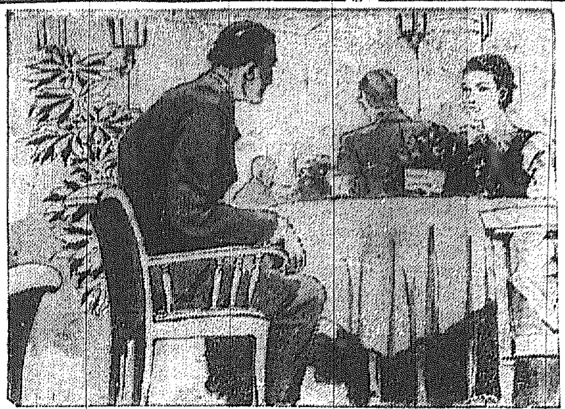
試寫會て（五）

「行つてくれますか？ありがたう。」

と、義文はさう言ふと、傍の牙柄の短かい杖を掲げて、向ふから來たタキシイを呼び止めた。

さつきは、そんなわけで、久々で、觀衆の中に、義文と膝を並べてゐる自分を、間もなく見出したのであつた。

――もし、あの時のをどりが、もつと凡庸なものだつたなら、私は、先生のことなんか、こんなに想ふやうにはならなかつたかも知れないわ。



はあつたかも知れぬが、觀衆を、すぐと陶醉の渦波の中に捲き込んでしまふやうなものであつた。野蠻な肉情と、纖細な情能とが、極めて韻律的に、男女の身うごきの一切那一切那ごとに感じられるのだつた。

だから、觀客たちは、俳優夫婦の舞踊が展開して、からみ合ひ、ねぢり合ひ、跳んだつかみ合ふやうにすら見えるとき、息をつめ、身を硬くした。そして、その二人が離れると、ホーッと肚息をして、激しい緊張から、解き放たれたことをよろこぶのであつた。

中入りの時が來て、舞臺の妖しげな照明が亡び、あたりが、和らかい電氣の光りで一ぱいになると義文は言ふのだつた。

「お茶を飲みませうか？」

さつきは、不思議な疲れを、心にも肉體にも感じながら、うなづいて、一緒に場内のカフェにはいつた。

彼女は、この時ほど、義文が、男であることを知覺したことはなかつた――敎師でも、先覺でも、文學者でもなく、一個の男性であることを知つたことはなかつた。

そして、彼女自身が、又、女であつた――嬢であつた――文學少女でも、フランス語勉強家でもなく、一個の女性であるにすぎなかつた。

彼と彼女とは、舞踊の、あの舞形の男女と、ひどく似たものであるには相違なかつた。

さつきは、あわてて、義文の目と合つた目を伏せてしまつた。そして、カフェ皿をみつめるやうにして、紅くなつた。

「少し、荒つぽすぎるが、このごろの、あんまり技巧的なをどりばかり見てみた目には、あれも、面白いですねえ。」

と、義文が言つた。

「あれには、嘘がない――われわれは、嘘に住きねばならぬから、時々、はつきりした、野性ながすたを見せて貰はねばならん。」

フランス文學者は、さう呟くやうに言つて、

「君には、氣に入りませんかね？」

――あんまり刺戟が強すぎて――と言はうとしたが、さう正直に言ふのがはづかしかつたのか、

「面白うございますわ。」

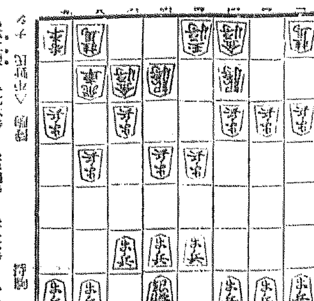
と、さも無邪氣さうに、さつきは答へた。

將棋新手合（一）

於東京市日本橋蠣殻町二の七　朝日本將棋所

（圖は七八飛迄の局面）

角落　▲六段　平野信助（東京）　△二段　永澤勝雄（東京）



△持駒　ナシ　▲持駒　永澤氏

△六二銀　▲七六歩　△五四歩　▲五六歩　△八四歩　▲七八銀
△六四歩　▲六六歩　△七二金　▲六七銀　△四二銀　▲七八飛
△八五歩　▲七七角　△七四歩　▲四八玉　△五三銀左　▲三八玉

（評者木七段講評）（上手）六二銀上りは敵の作戰を窺ふ含みであるが、本定跡なれば順當であるが敵の構圖如何によつて八四歩を突いて八五歩と突張る方が通つてゐるでもあるから八四歩を突いて八五歩と突張る方が通つてゐる
（下手）六七銀と上るのは本定跡に相違ないが、當今研究の結果された構陣戰法を採る方が賢明であるむべきでないか。當今研究の完成された構陣戰法を採る方が賢明である
（上手）四二銀上りに、右玉圍を含む總和策である、併し時に應じては孰れの作戰にも應變されるから手廣い手段である
（下手）四八玉と早く玉將の圍を囲るのは當然である
（上手）五三銀左と上つて右玉圍態度が判然としてきたのである

ラヂオ　JODK　けふの番組

八日（月）

第一放送

午前六時三〇分（大）基礎佛語講座（八）　日黒三郎
同七時一分（東）朝の修養　講話（二）　文學博士　飯島忠夫
同七時二〇分（東）ラヂオ體操
同一〇時　氣象通報
同一一時五分　料理献立、日用品値段、鮮魚開相場
正午　時報、今日のプログラム發表　京城府營水産市場發表
午後零時五分　講談　岡山の相撲　筑波さかゑ
同零時四〇分　ニュース
午後一時五〇分（東）野球試合實況　東京大學野球聯盟リーグ戰――明治神宮外苑野球場より中繼
同四時　ニュース、機關紹介事項
同六時（東）お話　この頃よく見かける鳥（テキスト三六ページ）
同六時二〇分（東）コドモの新聞　水野良平
同六時二五分（東）基礎英語講座（十二）　關恒五十二、岡倉由三郎
同七時　ニュース、天氣豫報

農村青年の夕

同七時三〇分（東）講演
一、青年の意氣　加藤明堂
二、新農村の建設へ　農學博士　那須皓
同八時一〇分（東）詩吟
一、九月十日・菅原道眞作
二、偶感　西郷南洲作
三、舟至田良港　吉田松陰作
四、山中月　武山民作　山田義雄
同八時二五分（東）浪花節　東家樂遊　鶴原
同八時五五分（東）歌謠曲
一、空は青空　二、登人村上多助
三、山中三里　四、利根の舟唄
獨唱　伊藤久男　伴奏　コロムビア・オーケストラ
同九時五分（東）吹奏樂
一、行進曲「太洋」　海軍々樂隊作曲
二、青年の歌　山田耕作作曲
三、序曲「ヴイルヘルム・テル」ロッシーニ作曲
四、軍歌「輝く軍艦旗」海軍々樂隊作曲
五、行進曲「青年と勇者」ラウテンシユラーゲン作曲　指揮　海軍々樂隊　內藤清五

同九時三〇分（東）時報、ニュース、氣象通報、翌日のプログラム發表、ニュース再放送

第二放送
午後零時五分　大等朔涙　仲細基
同二時　衛生講話（一）　許信
同六時　兒童劇　新撰子供會
同六時二五分　產業ニュース
午後七時三〇分　時調と俗謠　趙牧丹
同八時三〇分　演藝講談（一）　柳綠珠
同九時　唱劇調　柳秋岡

演藝案內

朝日座
京城本町五丁目　電本三六〇
十月十一日より四日間限り
日本浪曲界の大御所　吉田奈良丸師　其一黨主演
同師が大阪中座に開演中盛況の名曲（井伊大老）外新作數種口演する由なほ市内各所に前賣開始致して居りますから御利用下さい
吉田三郎丸　吉田奈子　吉田勝丸　廣澤源氏丸　吉田女丸　廣澤睦海　廣川者

浪花館
明治町一丁目　電本二三〇一
十月四日封切　明治座興行名畫ボレロ第一週年記念特別興行
一、短篇　上映
二、パラマウント特作日本版　監督ラルフ・マーフィ　主演チヤード・アーレン
三、ステージ・ショオ
ボレロ
四、短篇・不思議の國のベティ
五、パラマウント超特作日本版　監督ウエズリイ・ラッグルス　主演ジョージ・ラフト
ボレロ！ジョージ・ラフト一代の至藝！希望も戀も、男一匹の運命を賭けて踊り抜く、之は不屈なりし一人の男の物語、今シーズン最大のセンセーション！
麥畑を荒す者

京畿館
松竹共營　黄金町三丁目　電本一三一
八日より三日間　特別入場料金階下・階上二十錢
松竹蒲田超特作オールサウンド版
さすらひの乙女　原作・陶山密　監督・野村芳亭　主演・新派倶樂部
江川宇禮雄、奈良眞養、岡田嘉子、逢初夢子、坪内美子　共演
松竹下加茂特作時代劇　原作・水門手吉　監督・渡邊哲二
番秋やくざ双六　主演・高田浩吉、中村吉松、小笠原章二郎、坪井哲、千曲里子、河上君榮　共演
蒲田特作ナンセンス映畫
豚の花ざかり　大山健二、三井秀男、小倉繁　共演

朝鮮劇場
十月四日週より今秋劃期的特別興行（日曜日・祭日は三回興行）
特別料金　階下大人六十錢・小人四十錢　階上大人四十錢・小人三十錢
パラマウント社超特作（日本版）
ボレロ　ジョージ・ラフト主演　ギャロル・ロムバード、サリイ・ランド、フランセス・ドレーク助演
ウエズリイ・ラッグルズ監督
パラマウント社超特作（日本版）
坊やが盗まれた　ドロテア・ヴィーク主演
アレキサンダー・ホール監督
階上大人七十錢・階下大人四十錢　小人五十錢・小人三十錢

松竹座
松竹直營　黄金町　電本三〇六
八日より三日間限り入場料大人廿錢・小人十錢
無敵タルザン
非常線の女
結婚興奮記

中央館
三日特別大公開
不良少年の父

大正館
松竹直營　櫻井町　電本二三〇
十月五日より特別大公開
又五郎兄弟
處女よさよなら
頰を寄すれば

京城演藝館
京城本町三丁目　電本三三一
十月五日より毎夕六時開演
京山圓玉師
京山幸枝孃

喜樂館
日活直營　京城本町　電本一〇五
八日、九日開日限り
嫁ぐ日
男達ばやり
平手造酒

船舶廣告

朝鮮郵船株式會社
日本郵船定期出帆
大阪行
東京行
横濱直行
名古屋行
敦賀行
伏木七尾・新潟行
鹿兒島・三角行
上海行
青島行
大連行
浦鹽行
朝鮮郵船定期出帆
大阪商船定期出帆
阿波共同汽船出帆
威海衞、芝罘、大連行　利通號
鎭南浦、大連、天津行　長山丸
大連、天津行　共同丸
野口商會
北鮮阪神直行
大連內地直行
北鮮臺灣行
大連發
門司基隆直行
大阪商船株式會社
京城出張所
國際運輸會社
釜山商船組
慶田組
朝鮮北海道大連線定期
仁川出帆
鎭南浦出帆
群山出帆
木浦出帆
釜山出帆
浦項出帆
裏日本、北海道、樺太行
北海道北鮮線定期
仁川出帆豫定
北鮮直航定期線
日滿連絡最捷路
新潟北鮮直行線
清津出帆
雄基出帆
新潟着
切符發賣所
島谷汽船株式會社
北九州商船株式會社
釜山出帆廣告
博多直航
北九州商船株式會社出張所
仁川出帆
新義州安東出帆
日鮮海運株式會社
朝鮮汽船出帆廣告
釜山出帆
木浦出帆
鮮航同盟會
仁川支部

血と肉になる葡萄酒

この一杯は生活の憩ひです　そこには味覺から來る快い精神の寛ぎがあります　しかもこれは素晴らしい滋精源です　若い逞しい活力が全身に湧出するのです

赤玉ポートワイン

クラブ高級化粧品

爽やかなフケとり香水　クラブベーラム（正價一圓五十錢）
最新流行香油　クラブアンテン（正價五十錢）

コムフオータブル・ライフ
快適な生活は
クラブのオードコロンから

御洗顏の際……洗面器に數滴
御來客の際……おしぼりタヲルに數滴
御入浴の際……浴槽の中に數滴
御寢みの際……御床の上に數滴
いつも……ハンカチに數滴

素敵な家庭萬能香水
クラブオードコロン（正價九十錢）

主要品種類

クラブ固煉白粉
クラブ煉白粉
クラブ水白粉
クラブ粉白粉
クラブ紙白粉
クラブ白粉錠
クラブ洗粉
クラブビシン
カテイフード
クラブ美身クリーム
クラブ淡白クリーム
クラブコールドクリーム
クラブ美顏の素
クラブ化粧水
クラブ乳液
クラブ口紅クリーム
クラブほほ紅
クラブ眉墨
クラブ香油
クラブ植物性ポマード
クラブブリアンチン
クラブキニーネ香水
クラブベーラム
クラブビシン石鹸
クラブルブラン香水
クラブキヤラ香水